

| | | | |
|-----|-------------------------|-----|--------------------|
| 提案名 | 九州の木材流通産直システム（森林認証の住まい） | 分野 | 木造等循環型社会形成の分野に係る提案 |
| 提案者 | 熊本の杉・天然乾燥研究会 | 種別 | システム提案 |
| 構造 | 木造（在来軸組） | 建て方 | 一戸建ての住宅 |

■提案の基本的考え方

1 熊本の杉・天然乾燥研究会による「九州の木材流通産直システム（森林認証の住まい）」

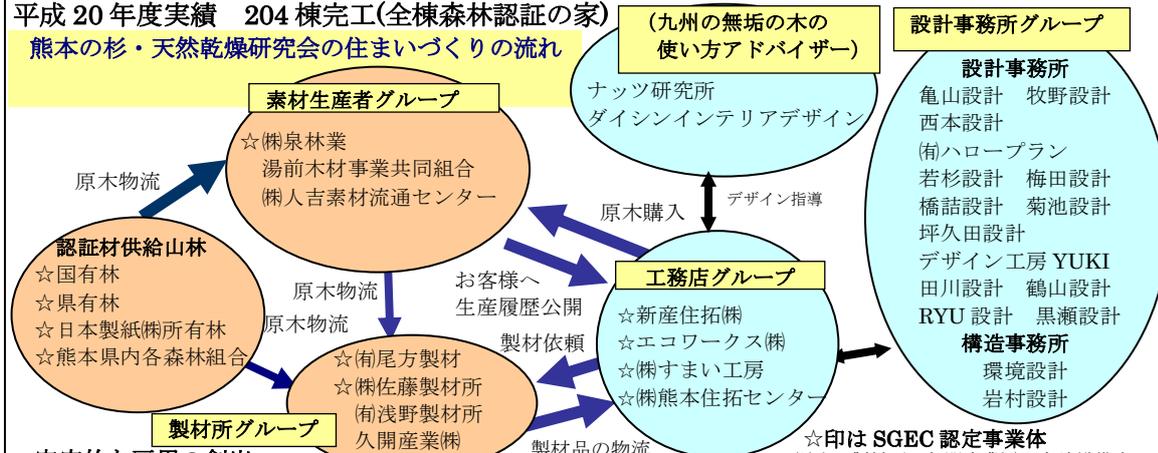
平成 20 年度超長期住宅先導的モデル事業にて「熊本の木材流通産直システム（森林認証の住まい）」で新産住拓(株)として 24 棟採択を受けました。今回は更に普及拡大して熊本の杉・天然乾燥研究会で提案、当研究会構成メンバーは工務店 4 社（新産住拓(株)、エコワークス(株)、(株)すまい工房、(株)熊本住拓センター）と素材生産者・製材所・九州の無垢の木の使い方アドバイザーと設計事務所等で計 27 社までメンバーを拡大、連携により地域全体での技術の向上と発展、技術技能の継承に寄与しております。更に環境と品質に配慮した高品質の木材の安定供給をします。先導的な流通産直システムとして普及することを目的とし提案するものです。

2 連携の取組み概要

近くの山の木を山で葉付乾燥し近くの製材所で製材・加工して近くのマーケットに「住宅」を提供する。「顔の見える木材での住まいづくり」。即ちトレーサビリティ（生産履歴公開）の実践による 100%国産材の「住まいづくり」を年間 200 棟以上（平成 20 年度）実践中です。素材生産者より原木の安定供給をここ 10 年余り受けています。価格及び数量は、毎年 2～3 回打合せをして決定。工務店が素材（原木）を購入しますが、素材は(有)尾方製材に直送・製材、部品化は計画的に打合せしてロスを少なくしています。

平成 20 年度実績 204 棟完工(全棟森林認証の家)

熊本の杉・天然乾燥研究会の住まいづくりの流れ



安定的な雇用の創出

熊本の杉・天然乾燥研究会は平成 7 年 7 月 7 日設立し「近くの山の木で家をつくる運動」の呼びかけ人となり活動開始、平成 7 年 10 月熊本県林務水産部発行の「葉枯らし乾燥材生産の手引」により、(株)泉林業と共に実践活動を始め、「顔の見える家づくり」活動で平成 9 年より(株)泉林業の協力で春と秋に生産現場体験ツアーを実施「地域材を活用しつつ地域に根ざし、山側の取組みを工務店や施主に見える形でネットワーク化したシステム」で、現在当研究会で 200 棟分の木材製品（年間約 7000 m³）を安定供給、社会的効果として低炭素化推進 環境負荷の低減、ストック社会の構築、地域効果として長期優良住宅を本ネットワークで普及することで、住宅技術の向上と伝承、後継者の育成、維持管理の協力支援体制強化、結果として、良品で安定した供給体制、地域の活性化を可能とした「木造等の循環社会形成のモデルシステム」といえます。

■提案内容 1 木造等循環型社会形成

a) 国産材の活用 循環社会におけるやさしい木材づくりとエネルギーの有効活用

ア) 100%国産材を使用した構造材羽柄材

太陽と風を活かした「天然乾燥」の木材を使用

今後の取組みとして木材の端材及び廃材を有効に活かすために、低温除湿木材乾燥（カーボンニュートラル）設備現在整備中

イ) 地域材の活用を推進：ウッドマイルズレポートの作成

持続可能な山林から産出される近くの山の木を葉付き乾燥させ使用します。

b) 国内森林の適正な整備及び保全の寄与：九州の森林を守る。

森林認証材：SGEC の認証材を使用した住まいを普及し国内森林を守る



1) サステナブルな活動 南九州は森林資源にめぐまれております。

この資源を活かした地域材利用の建物の普及は九州の森林の適切な備保全につながります。一般ユーザーや研究会関係者、子供達の木育に活用



2) 木材は建築用製材だけでなく

- ア) 製材過程の端材は日本製紙㈱で引取りパルプ利用。
- イ) 木材の端材はお客様へ薪ストーブ燃料として提供。
- ウ) 木片は木育のために日曜大工や工作材として提供。子供向けの木工教室にも活用。
- エ) 低温除湿木材乾燥システム (カーボンニュートラル) による補助的な乾燥設備のバイオマス燃料として利用。



c) 住宅関連産業の振興と地域経済(山間地)の活性化(山間地製材所との取引拡大中)

ア-1) 地域ネットワーク「顔の見える木材での家づくりグループ30選」に選定されました。

財団法人日本住宅・木材技術センターが実施した地域の関係者(木材供給者、木材加工・販売業者・設計士・大工・工務店等)の連携グループによる「顔の見える木材での家づくりグループ30選」に選定されました。林産地と強く連携しながら、100%国産材の森林認証材を用いて独自の天然乾燥を行い、厚生労働省が定める室内空気品質(5VOC)指針値を下廻る住宅への取り組み等が評価されました。

ア-2) 地域ネットワーク「農工商等連携事業計画に係る認定」

熊本の杉・天然乾燥研究会のメンバーである新産住拓㈱は平成20年12月農林水産省と経済産業省より農工商等連携事業計画「近くの山の顔が見える森林認証材で「空気品質」のきれいな「健康住宅」の商品化と市場開拓」について事業認定を受けました。5VOC(ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン)の室内空気中の濃度を厚生労働省が定めた指針値以下とした人にやさしい住宅の開発に成功しました。

イ) 川上から川下までの一貫した管理方法による「お客様、安心システム」

原木生産→葉付き乾燥→粗挽製材→天然乾燥→製材→素材品質管理→設計品質管理→加工精度管理→建物性能管理→施工品質管理→アフター→維持管理 と一貫したシステムで展開できる顔の見える関係履歴の明確な良質な素材を一貫した品質管理において規格化、標準化することで生産性の向上ロスムダの軽減、施工精度の向上、建築後のアフター、点検まで網羅することの可能なシステムです。

長期優良住宅の品質管理



設計検討会(週1回) ↑ ↑ 現場研修会(月2回) 品質向上推進委員の検査 ↑ ↑ アフター点検

トレーサビリティ 地産地消 地域の活性化、発展に寄与

無垢材の造作家具に地元の窯元と連携し地元焼物(小代焼)の手洗い器を組み合わせ提供。八代はイ草の生産地です。地元の「い草生産者と畳製造工場」と連携し健康畳を提供。

ウ-1) 技能の継承 技能の継承者育成のため大工研修生を受入れ養成・施工協力業者の育成勉強会等

新卒学生を2名程度社員として雇用、現在大工12名(内棟梁認定者4名)、大工研修生1名、技能の継承後継者として育つ仕組みとして棟梁を育成しております。

ウ-2) 技能の継承 一般社団法人「大工育成塾」の制度利用:平成22年度の塾生に1名申し込み予定

2 住宅の概要 九州の気候風土に適した建物仕様

- 台風対策 : 瓦全数ステンレスビス留め「耐震耐風特別工法」・屋根防水紙二重貼り施工
- 構造耐久性確保 : 天然乾燥の木材を使った骨太工法・1階床は30mm以上の杉板等を使用
- 日射対策、省エネ対策 : 窓は日射遮蔽複層硝子施工・省エネナビ設置・平成21年度総合省エネ基準「適」
- 劣化の軽減対策 : 外壁通気工法18mm通気層確保・給湯給水管はステンレス製の保温配管
- 九州の白蟻対策として: ACQ加圧注入処理防蟻20年保証 基礎のベース部分は配管類を貫通しない工法
- 健康配慮対策: 地元の健康畳(有機肥料栽培無染色畳)・押入内部杉板仕上・5VOCを低減させた室内環境

3 新たな取組みの部分(特に強化した部分)

「熊本県版スギ横架材のスパン表」を計算根拠とした構造設計を行います。グループネットワーク 大型台風等の災害時広域緊急支援体制の運用をします。

4 普及への寄与

- 長期優良住宅を体感するための宿泊体験館1棟建設予定
- 長期優良住宅の普及のための総合展示場モデル建設予定
- 地域の産業発展のための技能者育成研修会を実施
- 木育・長期優良住宅の普及啓蒙活動 イベント開催



■ 提案者からのコメント

販売は熊本県から福岡県まで拡大し、地域材の需要拡大、地域の活性化に貢献し、住まいづくりの分野で地球温暖化防止、低炭素社会における長期優良住宅の先導的モデル「いいものをつくってきちんと手入れして長く大切に使う」というストック社会の構築を目指します。